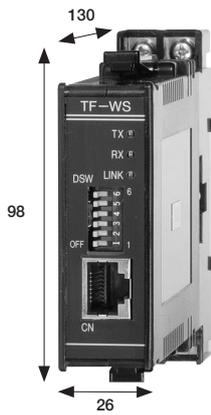


LANアダプタ

TF-WS



標準価格 : 68,000円

特長

- RS-485付きパネルメータ・変換器を接続してEthernet(TCP/IP)環境で監視可能
- サーバ機能を搭載していますので、ダイヤルアップルーター等を介してWeb上での監視が可能
- DINレールへのワンタッチ取付
- メンテナンス性を考慮したプラグインタイプ

型式

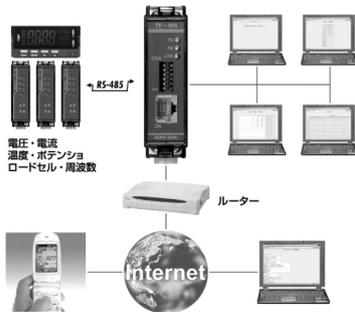
TF-WS

WS LANアダプタ

概要

本器は一般的なブラウザ(Internet Explorer、Netscape Navigator、Opera等)で設定、表示、操作が可能です。また、各種モードによりそれぞれのフィールドにあったデータの監視・収集が可能です。

システム構成図



Webモード

データを自動収集し、Web上でデータを監視・表示するモードです。別途、LANケーブルとブラウザが必要です。

また、データと設定値を比較し、登録されたアドレスへ警報メールを送信することが出来ます。

透過モード

Ethernet(TCP/IP)とRS-485のプロトコル変換するモードです。制御コードを必要とするLANアダプタモードと、通信用ソフトを必要とするコマンドモードがあります。

主な機能

認証機能

BASIC認証を使用した認証機能を持ちます。IDとパスワードを入力し、一致しなければページを表示することができません。ブラウザからのアクセスの場合、一度認証を通れば、ブラウザを終了するまでID、パスワードの入力は必要ありません。

計測機能

メータ設定画面にて設定されたRS-485搭載機器に対し、定期的なデータを取ります。

- ・ 計測間隔約1秒。1秒に1回、1台ずつデータを取得します(10台であればすべての計測に約10秒かかります)

- ・ 計測台数31台

計測機能にて計測したデータを不揮発性メモリに保存する機能です。ロギング間隔は1~120分で設定可能で、最大480回分(480×31台)のデータを保持します。

※データを記録する際には、日付時刻の入力が必要です。

※日付時刻はバックアップされないため、電源投入後必ず設定が必要です。

警報機能

警報機能計測機能にて計測した値と、設定されたしきい値(上限値、下限値)と比較し、範囲を超えた時点で指定されたアドレスへ警告メールを送信します。

仕様

基本仕様

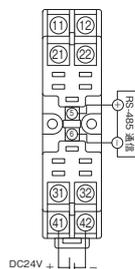
電源電圧	DC24V ±10%
消費電力(電流)	5W以下
耐電圧	AC500V 1分間 電源端子-RS485-Ethernet各間相互
絶縁抵抗	100MΩ以上(DC500V) 電源端子-RS485-Ethernet各間相互
ケース色・材質	黒色・ABS樹脂(UL94HB)
接続ケーブル	PC⇔TF-WS: LANケーブル(クロス) PC⇔HUB⇔TF-WS: LANケーブル(ストレート)
外形寸法	98(H)×26(W)×130(D)mm
外形図	外形寸法図I参照

使用環境

対応ブラウザ Internet Explorer 6(SP1)、Netscape Navigator 7.1、Opera 7.11
※一部にJavaScriptを使用します

対応OS Microsoft Windows 2000、Windows XP(Server製品は除く)
対応機種 A5000、A6000、A7000、TF-6シリーズ、RS-485通信機能搭載機器(MESコマンド対応機器)

端子配列



No.	記号	内容
11	NC	空端子
12	NC	空端子
21	NC	空端子
22	NC	空端子
31	NC	空端子
32	NC	空端子
41	POWER	U(+)
42		V(-)
5	RS-485	+
6		-